

ご参考

「明治神宮いのちの森 いきもの図鑑プロジェクト」

■プロジェクトの目的

明治神宮を囲う 70ha の森は「代々木の社」と呼ばれ、1920 年に明治天皇と昭憲皇太后をお祀りする神社とともに、全国約 10 万本の献木と述べ 11 万人の青年の奉仕によってつくられた人工の森です。永遠に続くことを目指し造営され、約 100 年の間、多くの人々に守られてきました。その結果、今では都会の中心に位置しながらも、おおくのいのちが生まれ、明治神宮にしか生息しない固有種や絶滅危惧種などもある森として学術的にも注目されています。100 年という歴史を刻んできた中で、これからも人から人へといのちを育む森が守られていくことは、多くのいのちが暮らせることにつながります。明治神宮の森が 100 年目の節目を迎える 2020 年から、更なる 100 年先の 2120 年まで、今を生きる人々がこの森を守り興味・敬愛・保護を促進していくために、様々なメンバーが多角的にいのちを体感できるワークショップを開催し、そこで見つけた生き物を撮影してWEBや冊子の図鑑を作成する予定です。

■プロジェクト体制

明治神宮いのちの森 いきもの図鑑プロジェクト実行委員会

主催:いのちの森

企画:NPO 法人響・NPO 法人シブヤ大学・株式会社博報堂ケトル

特別協力:明治神宮

協力・協賛:KDDI 株式会社・株式会社ロゴスコーポレーション・ソトコト・キュレーションマガジン antenna*[アンテナ](順不同)

■プロジェクト WEB サイト

<http://ikimono-zukan.jp>

■いのちの森

「いのちの森」は 2009 年発足した市民団体。代表:野中ともよ 企画運営:NPO法人響

実行委員会形式で開催し、多様な取り組みを通じて環境問題への意識を啓発するとともに、いのちを大切にする持続可能な社会づくりに貢献することを目的に、毎年 4 月には、「アースデイいのちの森」を明治神宮の森の中で開催している。

■2015 年度ワークショップ協力

NPO法人「響」が実施しています。明治神宮の森は、全国の約 10 万本の献木と延べ 11 万人の青年奉仕団によって作られた人工林です。この森の管理は一木一草持ち出しはいけないルールを守ること、いまでは、生態系豊かな森を維持しています。響は明治神宮に特別許可をもらい、森のどんぐりの実生を採取・育成し、新たな森作りのために全国へと苗木を恩返しする活動や、森の中で無農薬手作業の田んぼ耕作を実践し、自然への感謝や畏敬の心を育む活動をしています。

■撮影およびワークショップに使う機材について

今回のプロジェクトでは、撮影機材として、本格的な撮影を初心者でもわかりやすいインターフェースで気軽に挑戦できる「isai vivid LGV32」を使用します。F 値 1.8 の明るいレンズを搭載し、より多くの光を取り込むイメージセンサーやマクロ撮影から望遠撮影まで安定度が向上した 3 軸光学式手ぶれ補正等により、一眼レフカメラに近い撮影体験ができます。

isai vivid LGV32 カメラスペック

ディスプレイ(画面)タイプ	AH-IPS 液晶
ディスプレイ(画面)サイズ	約 5.5 インチ
ディスプレイ(画面)最大表示色	約 1,677 万色
ディスプレイ(画面)解像度	2,560 × 1,440 (WQHD)

